

暑中お見舞い 申上げます

今年も暑い夏がやって参りました。
皆様の若さとパワーでこの夏を
乗り切ってください。

さわやか事務局一同



創立三十周年 小倉第一病院

六月九日十五時より小倉第一病院の六階多目的ホールにて「小倉第一病院創立三十周年記念式典」が開催されました。式典には、中村院長をはじめ、透析スタッフ、腎友会新旧役員、長期透析患者、そして『さわやか』の事務局員二人も招待を受けました。

参加者は四十五名でした。最初に中村院長からの挨拶がありました。「一九七二年に北九州クリニックを開設し、

今年で三十年になります。北九州の地に透析施設第一号病院として創設し、皆様のご支援とご協力により、三十周年を迎えることができました。医療情勢は、日増しに厳しくなり、今までのように、護送船団方式での透析は望めない時代にさしかかっています。この厳しい状況を打破するには、透析医会と腎友会が頑張らなければなりません。更により良い病院を目指して努力します。」

という内容のお話がありました。中村院長に、腎友会小野会長より花束の贈呈がありました。引き続き、北九州市腎友会会

長（『さわやか』会長）江頭博幸氏、元福腎協会長石田和美氏、上松喜久代婦長、小野正典腎友会会長の各氏から祝辞が述べられた後、元福腎協副会長太田一典氏の乾杯の音頭で交流会に入りました。中村院長による、小倉第一病院の三十年の歩みのスライドの説明がありました。一九七二

福腎協研修会開催

六月十六日十時三十分から、八幡ロイヤルホテルで、「福腎協病院腎友会研修会」が開催されました。今回は、福腎協北九州地区の各腎友会の役員を中心に七十一名と福腎協役員八名の七十九名が参加しました。

参加者は八つのグループに分かれ、各班ごとに、腎友会活性化を

どうしたら良いかについて話し合いました。「新入会員を迎えるときの心構え」「会に入るメリットは何か」「役員になりてがないが」「透析患者が海外旅行したり、外車に乗るのは、身の程知らずではないか」「年金の等級に

ついて」などのテーマで班毎に討議をした後、各班より発表をしました。また、「メリット論」と「海外旅行」の問題については、ロールプレイング（参加者の中から二名を選出し、それぞれの役になりきって質問したり返事をしたりしてもらい、他の参加者をそれを傍聴して参考とする）方式で論議をしました。

この会議では、結論を出すことが目的ではなく、色々な意見を出し合い論議することに重点がおかれました。閉会の十四時三十分まで活発な意見交換がされ、参加者はそれらを各腎友会に持ち帰り、今後の活動の糧になるものと思

ご冥福をお祈りいたします

六月十三日に宮本正敏さん（小倉リハビリテーション病院）が逝去されました。宮本さんは、平成十四年一月より「さわやか」八幡事業所で送迎させていたでいていました。奥様よりお電話で次のようなメッセージをいただきましたのでご紹介させていただきます。

「主人が透析を導入した時には通院するのをとてもいやがっておりましてが、「さわやか」のボランティアさんがお迎えに



来ていた。だくようになつてからは、むしろ透析に行く日を楽しみにしていたようでした。早く退院して、またボランティアの皆様へ送迎してもらおうと頑張っていました。が、残念です。お世話になりました。宮本正敏さんのご冥福をお祈り致します。

透析病院紹介

今村クリニック

院長 今村 敦郎 先生



6回目の病院紹介は、八幡西区にある今村クリニックです。北九州都市高速の馬場山インターを降りてすぐの閑静な住宅地の一角にあります。

平成6年7月に開業され、今年で八年を迎えるまだ新しい病院です。現在、患者数は105名で、スタッフは看護師26名・技士4名・看護助手3名・事務3名他・総数40名です。

私達がお約束の時間に伺うと、玄関で院長先生が出迎えてくださいました。顔の半分が隠れるような大きなマスクをしていらっしゃいましたので、写真撮影の際にマスクを取るようお願いすると、照れ屋なのか、なかなか取ってもらえなくて、無理にお願いすると、渋々はずしてくださいました。マスクの下はちょっと昔の「慶応ボーイ」風な笑顔の素敵な先生でした。

まず、玄関を入ると右手に受付があり、診察室・レントゲン室・宿直室・院長室・男女の更衣室などがあり、受付のカウンターや扉はすべて木で統一され、落ち着いた雰囲気でした。

2階は透析室になっており、第一透析室・第二透析室と2部屋に分かれています。透析ベッド数は、第一透析室が22床・第二透析室が18床で、各部屋とも、窓が広くとってあり、大変明るい透析室だなと感じました。14インチのビデオ付テレビが各ベッドに1台ずつ備えられていて、ビデオは自分で持ってきてもよし、貸し出しビデオもたくさん揃っています。ベッドは電動で自由に上げ下げでき、長い透析時間を我が家でくつろいだ気分になるように配慮されています。

昨年3月に病棟部分が増築されました。入院ベッド数は19床で、緊急及び重病用に病棟に1台透析の機械を設置しています。私達が、病棟に案内されてまず驚いた事は廊下が広い！ということです。それは歩行器や車椅子などがゆったりスムーズに移動できるようにとの先生の配慮からだそうです。また、病室の窓から田んぼが見え心休まる雰囲気を演出しています。そして、喫煙所のテーブルの上には、鉄アレイが置いてあり、雑談をしながらシャントが鍛えられます(?)



今村 敦郎 院長 プロフィール

昭和28年6月23日生まれ
福岡県直方市出身
昭和54年 弘前大学卒業
九州大学第2外科を経て
昭和61年4月より
平成6年6月まで福岡県済生会
八幡総合病院腎センター従事
平成6年7月 今村クリニック開業



フロアの真ん中にナースステーションがあり、病室は暗くなりがちな患者さんの気持ちを考えて、全室外光が入るように建てられています。

病室は、個室が12部屋、2人部屋が4部屋あり、各部屋ともにゆったりとして、ロッカーも木製のものが備え付けられ、暖かさを感じました。入院患者さん用の談話室には木の丸テーブルが置いてあり、ここにも家庭的な雰囲気と思いやりがありました。院長先生に、「患者さんに望むことは?」とお聞きしたところ、一言「煙草をやめること」とおっしゃいました。なぜなら血液・血管・肺に悪いからです。」と強い口調で説明されました。また、通院介護センター「さわやか」について何か一言とお聞きすると、「がんばっていますね」とお褒めの言葉をいただきました。婦長さんを筆頭に40名のスタッフは、患者さんに対して「何でも一人で悩まないで、どんな小さな事でも何でも話してほしい。時間はかかるかも知れませんが、一緒に解決していきましょう。」と話されました。それは患者にとって大変心強い事だと思います。今村クリニックでは、105名のうち100名が腎友会会員となっており、全国的にみても、すばらしい加入率です。総会・勉強会やレクリエーションが先生やスタッフを交えて活発に行われています。一生お付き合いしていく仲間です。先生・スタッフ・腎友会のコミュニケーションが大変うまく取れているということは、私たち患者にとって理想的だと思いました。

腎友会会長さんより一言

私達の病院は7月7日が8周年記念で若い病院です。病院は透析室が1号館と2号館で入院病棟が新しく出来ました。腎友会の会員は現在100人です。月・水・金が午前と午後、火・木・土が昼までです。年間の行事も、総会・歩こう会・創立記念・バス旅行と年3回の勉強会があり、昨年また一つボーリング愛好会をふやし、病院の良いところは、院長先生・スタッフ・その他病院関係の人が腎友会に対してもものすごく協力的で私達役員は大変助かっています。これから来られる患者さんも喜んで腎友会に入ってもらえると思います。私達の合言葉は、「長生きしようネ」です。

今村クリニック腎友会 長江 信一



川口婦長より

病院は明るく家のつづきだと思って、この病院に来てよかったと思われるような生活をしてもらいたい。透析患者という事で、家族とかけはなれた生活ではなく、日常生活を家族と共に楽しんであとは、病院に来てくれるだけでOKです。

技士部より

技士部のスタッフの人数も増え、今後患者さんの個々に合ったよりよい透析を提供できるように頑張っていきます